

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー							
科目名	危機管理学研究演習Ⅲ						
担当教員	吉富 望						
対象学年	2年	開講学期	前期				
曜日・時限	時間外						
講義室		単位区分	必				
授業形態	演習	単位数	1				
科目大分類	—						
科目中分類	修士						
科目小分類	統合・演習						
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード・学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3(思考力・判断力・表現力)客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力：40% DP2(学識・専門技能)災害,テロ,国際紛争等,複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための,法学,政治学,国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能：30% DP4(主体性・多様性・協働性)多様な価値観や立場を尊重しつつ,自らの明確な考えをもとに,他者とコミュニケーションを確立する能力：30%						
教員の実務経験	陸上自衛隊に32年間勤務し、この間、第一線部隊において部隊運用に関わる実務に約11年間従事しました。また、内閣官房内閣情報調査室、防衛省防衛局、防衛省情報本部、陸上幕僚監部といった中央機関で防衛力整備、部隊運用、戦略情報に関わる実務に約11年間従事しました。加えて、防衛大学校、陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊小平学校などで教育及び研究開発の実務に約10年間従事しました。授業では、国際政治、安全保障および防衛に関する専門的な学識の習得を図りますが、政策と実務とのギャップ（政策上の課題）についても実務経験に基づいて分かりやすく教育します（第1回～15回）。このことで、生きた学識を習得するとともに、国際政治、安全保障および防衛について分析する力を高めます。						
成績ターゲット区分							
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために,必要な社会科学的研究手法を学び,学生が自ら研究テーマを設定し,論文を執筆し,成果を発表するための指導を行う。本演習では,危機管理学,法学に関する研究を,修士論文としての形式と実質を備える段階にまで高めるための応用的なプロセスとして,文献収集や社会調査,事例分析や判例研究を,それぞれテーマ具体的に実施する。これらの研究プロセスを通じて,学識・専門技能に加え,判断力・思考力・表現力,更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 修士論文						
授業の趣旨	■副題 修士論文を作成する。 ■授業の目的 修士論文を作成するとともに、関連する学識を深め、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性等の汎用的能力を更に高めることを目的とします。 ■授業のポイント 修士論文に関する文献を読み込んで基本的な学識を深めるとともに、問題の所在と課題への対処のあり方について、自ら説明できる能力を高めます。						
総合到達目標	■一般総合目標（GIO） 就寝論文のテーマにに関する学識・専門技能を身につけ、論理的思考力を高めるために多様な見方を養う。 ■個別行動目標（SBOs） SBO1 修士論文のテーマに関して、その問題意識について説明できる。（第2～15回） SBO2 修士論文のテーマに関する先行研究等について説明できる。（第2～15回） SBO3 修士論文のテーマに関する切り口について説明できる。（第2～15回）						
成績評価方法	■修士論文中間報告：5回（80%）：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 （評価の観点）修士論文の構成について、的確かつ論理的に報告しているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施します。 ■授業参加度：5回（20%）：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 （評価の観点）他の学生の修士論文について、的確かつ論理的な議論を行っているかを評価します。						
履修条件	特になし						
履修上の注意点	※※※ 海外出張中の小谷賢先生の代講となります ※※※						
授業内容	<table><tr><td>回</td><td>内容</td></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス、修士論文進捗状況報告 ②授業概要 授業の内容、スケジュール、評価方法について確認し、授業に取り組めるようになる。（DP2, DP3, DP4） 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分）</td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス、修士論文進捗状況報告 ②授業概要 授業の内容、スケジュール、評価方法について確認し、授業に取り組めるようになる。（DP2, DP3, DP4） 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分）		
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス、修士論文進捗状況報告 ②授業概要 授業の内容、スケジュール、評価方法について確認し、授業に取り組めるようになる。（DP2, DP3, DP4） 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分）						

	シラパスの内容をよく読むとともに、修士論文の進捗状況報告を作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
2	①授業テーマ 第1回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習（120分） 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
3	①授業テーマ 第1回修士論文中間報告 ②授業概要 修士論文の進捗状況を報告し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 修士論文中間報告を準備する。 ④復習（120分） 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
4	①授業テーマ 第2回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習（120分） 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
5	①授業テーマ 第2回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習（120分） 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
6	①授業テーマ 第2回修士論文中間報告 ②授業概要 修士論文の進捗状況を報告し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 修士論文中間報告を準備する。 ④復習（120分） 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
7	①授業テーマ 第3回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習（120分） 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
8	①授業テーマ 第3回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習（120分） 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
9	①授業テーマ 第3回修士論文中間報告 ②授業概要 修士論文の進捗状況を報告し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 修士論文中間報告を準備する。 ④復習（120分） 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。

	10	①授業テーマ 第4回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。(DP2, DP3, DP4) 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習(120分) 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
	11	①授業テーマ 第4回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。(DP2, DP3, DP4) 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習(120分) 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
	12	①授業テーマ 第4回修士論文中間報告 ②授業概要 修士論文の進捗状況を報告し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。(DP2, DP3, DP4) 担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 修士論文中間報告を準備する。 ④復習(120分) 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
	13	①授業テーマ 第5回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。(DP2, DP3, DP4) 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習(120分) 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
	14	①授業テーマ 第5回修士論文中間報告準備 ②授業概要 修士論文の進捗状況を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。(DP2, DP3, DP4) 必要に応じ、担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 修士論文の進捗状況を確認する。 ④復習(120分) 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
	15	①授業テーマ 第5回修士論文中間報告 ②授業概要 修士論文の進捗状況を報告し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。(DP2, DP3, DP4) 担当教員の実務経験を踏まえて、修士論文に関連する事項を具体的に解説し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 修士論文中間報告を準備する。 ④復習(120分) 自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
関連科目	無し	
教科書	無し	
参考書・参考URL	特になし	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜日昼休み	
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント5%; パブリックセキュリティ5%; グローバルセキュリティ85%; 情報セキュリティ5% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理90%; 法学10%	